

横浜アコ・東北のアコ愛好者と交流

横浜アコーディオン愛好会では、7月19日（金）～21日（日）に東北・石巻市の被災地見学と現地で演奏会を行う計画を立て、石巻の石垣好春さんの援助を頂きながら無事行う事ができました。被災地見学では、石垣さんの案内で、主に学校関係での惨状や対応などの話を伺いました。

泊まった民宿では、一階部分が水に浸かったままでの復興の様子や、隣接する仮設住宅

の方々との対応などの話を聞く事ができました。演奏会では、約40名のお客さんの前で、横浜からの8名が合奏や重奏、独奏を行い、東北の方々は、主に独奏で、他に合唱団の方の演奏もあり、有意義なひと時を過ごせたかなと思っています。

その時の感想を横アコの蕪木さんに書いていただきましたので、ご紹介いたします。（G.T記）

「石巻アコ演奏交流会」に参加して

横浜アコーディオン愛好会 蕪木 幸枝

交流会の会場となった「川べりの散歩道」は、とてもおしゃれなホールで、昼食をとった隣接したレストランもまた素敵でした。

横浜愛好会の演奏、地元の方のソロ演奏、“アコにあわせて歌ってみましょう”と2時間はあっという間に過ぎました。たくさんの手拍子、拍手、歌声が会場にあふれ、それは充実したひと時でした。その後の交流会でもそれぞれの方のお話が行き交い、初めてとは思えない打ち解けた雰囲気でした。

また、石垣さんのご案内のもと、東松島市や石巻市の被災地を、その都度丁寧な説明をいただきながら何か所も見学することが出来ました。

あの時、私たちは、新聞、テレビでどれほどの驚きと悲しみと嘆きと憂いを受けたことでしょう。あれから2年半近く経って現地を訪ねる機会を得、その場に立ち説明を聞き、

重く深い思いで頭も心も一杯です。

人のいない校舎、あの時刻をさして止まったままの時計。仮設住宅はまさに仮設で、呆然としました。いったいいつ仮設でない住まいに移れるのかと思うと心が痛みます。

物産店（物産館）の女主人は、足が悪いので逃げられないと思ったのにこうして生きていますと体験を話してくれました。帰路立ち寄った酒蔵でも大きな被害を受け、出荷を待っていた何千本ものお酒が、ビン共々だめになりましたとのことで、ここでも胸が痛みました。

石垣さんは、自慢の景勝地は見ると影もないといわれましたが、ご案内頂いた奥松島の景色は、素晴らしく、日和山公園は土曜日だった故かとても人が出ていました。

少年野球の練習をしているところもあり、子供の姿を見てほっとしました。川と運河と海は、荒々しさ猛々しさが信じられない穏やかな姿を見せていました。

それにしても、出会った方々がともかく

前を向いて日々の暮らしに励んでいらっしゃることに感動し、こちらの方が元気を頂きました。帰路、高速道路の脇に咲いていた山百合が美しく、また、稲穂の緑が目にとやわらかく

映りました。このような機会を作って下さった方々に心からお礼を申し上げます。



写真説明：編集部

- 1.横浜アコーディオン愛好会演奏の様子
- 2.鳴瀬第二中学校体育館（1階上部まで水没）
- 3.手前が仮設住宅、奥は宿泊した月浜の民宿
- 4.演奏会終了後の懇親会の様子
- 5.物産館で主人より体験談を聞いている様子



♪「風の中に間にアコーディオン 和田道雄の世界 Vol.3 in Tokyo」ぶらり訪問記♪

主催:ワダミチオ友の会

日 時 2013 年 6 月 30 日(日)午後 2 時～

会 場 音楽の友ホール(「神楽坂」駅前)

初めて足を運んだ会場でした。地下鉄東西線「神楽坂」駅前にあり、ホールの向かい側にあった喫茶店で一息入れて会場へ。座席数も 200 席強の使いやすそうな会場でした。(写真はパンフレットより転写しました)

東京での演奏は 20 年ぶりだそうで、本人曰く、忘れられてしまったのではないかと心配していたそうです。「和田道雄氏の演奏を聴くのは初めてだという方は？」という司会の問いかけに三分の一ぐらいの方が手を挙げていました。

筆者も初めてで、関東アコの実行委員会ニュースは、毎回送らせていただいている方なのに、一度も聴いたことがなかったので、大変良い機会でした。

残念に思ったことが一つありました。舞台が床から 30 センチほどの高さに作られていて、(お客さんとの目線の高さで考えるととてもいい条件だと思うのですが)座席はフラットな床に椅子を並べた形式なので、演奏者が前の座席の方の陰になり大変見えにくかった点です。

さて、演奏ですが、「8 歳よりアコーディオンを始め今年で 52 年の歳月が流れ」とプログラムにあるので年齢は 60 歳でしょうか。やさしそうな感じの方です。しかしとてもエネルギーギッシュな演奏をします。

プログラムは 3 つの PART からなっていてそれぞれ 10 分程度の休憩が入ります。

《PART1》は、「コットンフィールズ」アメリカの古い民謡の一つと紹介がありました。教会音楽をちょっとスイングさせたような演奏で

す。次の「ブルー・タンゴ」おなじみの曲です。全ての曲に言えることですが蛇腹がよく動き体全体を上手に使っているのが良くわかります。3 曲目の「愛の讃歌」では、右手スイッチの切り替えや音が飛ぶところなど音が途切れやすいのですが左のベースで見事につなが演奏など大変気持ちのいい演奏でした。

「安来節」が入り、「ブローニュの森」これはオリジナル曲で、ミュゼットに持ち替えての演奏、三拍子で客席の方もリズムに合わせて肩を揺らしていました。1部の最後は再びエキセルシャアのコンチネンタルに持ち替えて「いとしのエリー」、とてもダイナミックな演奏で音を楽しんでいるように見えました。

《PART2》では、「All of me」「なんて愚かな私」「キャラバン」「セントルイスブルース」などジャズで構成。「キャラバン」ではベローシェイクを見せてくれました。

ステージごとに衣裳を変えて登場します。《PART3》では、2 曲目の「アルフレッドシュブラックの媚態」はミュゼットに持ち替えての演奏で小気味よいスイングが素敵でした。「星に願いを」のジャズバージョン、ヌード写真集を見て作曲したという「粹」、最後の「パリ解放のジャヴァ・マーチ」は軽いノリの速くて軽快な指さばきは見事でした。

「演奏に必要なことは、素直な心を持つこと」と本人が語っていたように、穏やかな空気の中にダイナミックな部分、しなやかな部分、“ff”から“pp”に、グリッサンド、ベローシェイク、スイング、早いパッセージと自由自在に音を作り出し楽しんでいる姿が印象に残るリサイタルでした。(乙津:記)



♪「JAPC アコーディオン夏祭り 2013」ぶらり訪問記♪

主催:JAPC 日本アコーディオン振興協議会

日 時 2013 年 7 月 20 日(土) 13:00～
会 場 日暮里サニーホール・コンサートサロン

て手の平でたたきリズムを付けたりしてしっかり弾いていました。

JAPC 発足 3 年目(3 回目)の夏祭りに実行委員の仲間と二人で出かけてみました。

アコーディオンの指導者が増えてきて、カルチャースクール以外に楽器店、販売店でもアコーディオン教室を積極的に開くようになってきたことはとてもうれしいことです。指導者の年齢が若くなり、生徒にも若者が増えている傾向は将来に夢が広がります。

筆者は音楽センターのアコーディオン教室で練習していますが、普段、まず聴くことのなかった演奏者がたくさん出演していました。みなさんととても若く(ゲストは別にして)40代半ばの方が最高齢というとてもパワフルな元気のいい演奏会でした。

まず、主催者を代表して小川正浩さんが挨拶に代えて、V アコでのウェルカム演奏を行いました。

最初の演奏者、中西基起さん(トンボ松本みさこ教室)の「マジック・フィンガー」では、この曲に「男はつらいよ」のテーマソングがぴったりとはまっていて驚きとともに会場を和やかにしました。

4 番目は関西と東京で、お互いに修理・調律をなさっている若手の岡田路子さん & 寺堀春菜さんによる「修理一ず」の二重奏。エプロンをつけた作業着姿で「ムーランルージュ」を演奏。練習不足の感はあるけれど、こういう方の演奏を聴くことができるのが JAPC の夏まつりの良さなのでしょう。

6 番目の演奏者、リペイヤ・イサオ・オータさん(鍵盤堂楽器 Team)も修理の勉強中で、修理が専門なので上手く弾けませんと言いつつも、「グリーンスリーブス」を蛇腹を開い

途中休憩前に演奏された関山さえる & 千葉薫さん(達川葉子教室/鍵盤堂檜山教室)の二重奏「Style Musette」他は、体の動きで音を乗せている。それが客席の手拍子を誘い演奏者が楽しんでいたのが印象的でした。

「仮面舞踏会」を演奏された伊藤志保さん(フリー)は、スタイルの良い方で黒のドレスにサングラスと髪飾りを付けて登場。悩ましい語りかけから始まり、ワルツのステップやイナバウワーのパフォーマンスを披露。動き回っても音が揺れることもなくしっかりした演奏に感心しました。

立奏での演奏者も大勢いました。職業は保育士と紹介された藤原大輔さん(檜山学教室)もその一人で、「Shocking Valse」(ショッキングワルツ)はリズムに乗った軽快な演奏でした。

「真実のミュゼット」を弾かれた河瀬美智子さん(大塚雄一教室)は、ボタンアコでご自分で編曲されています。

池内光子さん(平山教室)は「ジュピター」「ペルシャの市場にて」「ラデッキー行進曲」など、クラシックメドレーを披露しました。

ベローズ・ラバース・ナイトに出場したことがあるという杉山卓さんは、曲のイメージをつかむのが上手で飛び出す音が素晴らしい。

講師演奏では松本みさこ氏、三浦みゆき氏(コンサーティーナ演奏)、関西で活躍している牧野悦子氏、檜山学氏、飛び入りで田ノ岡三郎氏の素敵な演奏を聴くことができました。この後、場所を変えて懇親会が用意されていましたが、関東アコの事務局会議のため懇親会は失礼いたしました。(乙津:記)